

八王子のとんとんむかしばなし

ーうれしい自慢話ー

講 師 菊池 ただし

司 会 宮崎 浩平

講 師：日本民族学会会員、日本児童文学者協会会員。 桑都民俗の会、とんとんむかしの会、高尾山語り部の会の講師。

1 美しい『タやけ小やけ』

八王子と言えば、まず中村雨紅さんの『タやけ小やけ』の歌を挙げない訳にはいかない。 赤トンボや真っ赤な夕焼け……恩方地区の寺々の鐘の音とともに、すっぽりとタやけに包まれる、その情景はまことに美しいものである。 人の心を癒してくれる日本の歌なのだ。 無論八王子のあちこちでも、それぞれ夕映えが美しい。 このような素晴らしい風景のところに人々が暮らしており、また長い年月の経過とともに歴史を形成して、人々の生活の中にさまざまな語り伝えや昔話が伝わっているのである。

2 八王子のむかしばなし

むかしばなしと言っても、多いのは説話で、さらに寺社縁起・雑譚・民譚・里語りなどさまざまである。 八王子にむかしばなしが多いわけは、古道・往還・街道があること、お寺やお宮が多いこと、講中が盛んであること、郷土史家の活躍があること等の理由があげられるであろう。 例えば、道についてであるが、万葉道・国分寺・府中街道・鎌倉古道・小野路・熊野・甲州(古・街道)など、それぞれが何らかの役割があったと考えられる。 また、あちこちに寺があり、古宮も多数あるということや、庚申講・念仏講・地獄講・二十三夜さま・太子講・大師講など講中が盛んであったことがあげられよう。

3 伝説の町 八王子

八王子市か横山市かなどと論議のあったことも昔となったが、大正6年9月1日に市制がしかれた。 八王子といえはやはり伝説の意味があると考えられ、横山といえは横山氏に見るように歴史から捉えたい。

八王子地名伝説を見てみれば、「宗関寺縁起」には相伴う者八王子とあり、「牛頭天王伝説」による八人の王子(皇子)の八王子と、「八王子伝説」による八古寺(八ヶ寺)を建立したとする八王寺とのそれぞれの地名伝説もある。 この八人の王子の伝説は、五男三女とされており、「素戔鳴尊伝説」の八人の皇子を連れてという話も同じく五男三女と言われ、「牛頭天王伝説」と類似しているところが興味深い。

この他にも「八王子宫伝説」なども知られている。

4 全国の八王子

八王子や八王寺という地名は全国に存在するという特徴がある。

町や村の地名が八王子であったり、小さな字(あざ)とか土地の名前だけなど、約80ヶ所ほどある。 三重県四日市市の「伊勢八王子」、小国・安良の「越後八王子」、近くは「与野八王子」、愛知には「瀬戸八王子」などなど数多く挙げることができる。

八王寺は、「大阪・池田の八王寺」「倉敷の八王寺」「九州・八幡の八王寺」などがある。

5 八王子の十大伝説

多いのは「八王子の弘法伝説」である。 八王子には高尾山にかかわる話(滝・天狗等)があり、ここに集まる旅僧の語りも多く、また町には信仰の寺が多かったことによると言える。 次いで「将門伝説」であるが、「まさかさま」と言われるようになって伝えられている。 さらに松姫ものがたりの「尼公さまの伝説」、松姫さまの恩師ト山和尚の「ト山伝説」、八王子城合戦や落城悲話の「落城伝説」がある。 そのほかにも伝説は多く、これらはむかしばなしとして語り継がれている。

昔話の語り始めに「とんとんむかし、…」という。 とんとんは尊い尊いお話です、という意味なのである。

6 八王子の七不思議

七はたくさんの意味があり、男井女井や雨乞い山門などの「広園寺七不思議」や「浅川七不思議」「横町七不思議」「大和田刑場七不思議」それから「小仏峠七不思議」「滝山城七不思議」、弁天様の池にまつわる「大塚七不思議」「中野七清水七不思議」などがあり、はなしも多い。

7 八王子の伝承説話

七度返りの宝刀や盗賊耳付けの板の「高尾山説話」や、首なし地蔵や三人生地蔵の「八王子の地蔵伝承」大善寺の「子育て吞龍」さらに「極楽寺縁起」「宝生寺縁起」など、はなしの素材となっているものは多い。これらはいわればなしと言うが、「…そんでもってな一、じそうさまがな…」等と語り聞かせるのである。

8 八王子の宿場ばなし

「とっくり車屋」「祐天畑」「甚五郎格子」など、登場人物が次第に善行を行ったり、旅人のために施しをしたり、悪人には祟りがあったりするということのように、はなしの結末は多分に教訓を含むものとなっている。その他「道中まむし」など、数多くのはなしがある。

9 八王子の天狗伝説

「高尾山天狗」「今熊天狗」、陣馬山の「本宮山天狗」、更に道了山、横川村などあちこちに見られるが、特に高尾山の天狗ばなしとしては、さまざまな話がある。最近、日本中に語り部は大変少なくなってきたが、高尾山語り部はなんとか続けたいということで努力しているところである。

おわりに、講師による天狗ばなしのひとつ「天狗わらい」の語りを聞き、むかしばなしは、全く現在にも通じる大切な語りの文化そのものであることの認識を高めて終了した。

(記録)

TV放送 裏から見れば

講師 秋山 邦博

司会 浜野 幸雄

講師：元NHKアナウンス室長

1 テレビの誕生日

今年の2月1日、NHKはテレビ放送開始50周年の16時間放送で沸いた。今では、テレビ以前、テレビ以後と歴史を仕切ることができるほど、テレビは社会と生活に影響力を持つようになった。

テレビが始まった日、全国の受像機契約台数は866台。初任給8千円の頃、受像機は国産で20万円。プロレスや大相撲を見る人で街頭テレビは賑わった。でも、テレビはくだらない、一億総白痴化だと批判されても、大きなイベントがあるたびにテレビは普及し拡張し続けた。それは瞬時に同時に世界を結び、ありのままの世界をリアルタイムで伝えることが人間の夢だったからかもしれない。

現在では、テレビの契約世帯は3,700万。地上波、衛星、ハイビジョンと全て終日放送で、始まった頃の30倍、120時間放送となっている。

2 テレビは生活の一部

NHKの5年に一度の国民生活時間調査によると、前回2000年のテレビの視聴時間は平均で3時間45分。中でも60代以上では男性5時間10分、女性5時間20分と、90年調査より40分以上も長くなっている。テレビはなくてはならない43%、ついていないと落着かない20%と、もう生活とともにあると言える。

3 テレビの影響

世界で一番有名な日本人は…？「おしん」。59の国で放送。視聴率もイランとタイで82%、北京で76%と驚異的。国内でも一年間の視聴率平均が52.6%で、高森和子さん演ずる姑のおしんいびりに、イメージダウンだと佐賀県がNHKに抗議。現実とテレビの世界が同一化されることが多くなった。

「映像がなければテレビではない」と、貿易センタービル崩壊、瀋陽総領事館北朝鮮亡命事件など同じ映像を繰り返し放送。田中真紀子さん更迭報道も繰り返すことにより同情を買ったのではない。危険なサブリミナル効果を使った映像が放送されそうになったこともある。

4 映像はウソをつかないか？

視聴者側が一部だけを見て全体を誤って判断するコワサがある。放送する側も、映像のモンタージュ手法で合成したり誇張してしまうことがないと言えるのか。

意図的に作為で放送された例。湾岸戦争の時の映像ー・重油まみれの水鳥はイラクの環境破壊テロとは無関係だったことが後に分かった。・ピンポイント爆撃の映像は軍事目標だけに命中したかの印象を与えたが、実際にはわずか7%に過ぎなかった。・実際は偽りの「ナイラの証言」が放送され開戦支持者が爆発的に増加した。

5 イラク戦争とテレビ

「これは本当のことか」とテレビを見て思った人は多かったのではない。戦車砲火で火の手が上がる建物、逃げるイラク兵などまさに地上戦の実況中継だった。これまでの「見えない戦争」から「リアルタイムの戦争」へと初めてテレビが変わった。これはイラクもアメリカも自己に有利に情報戦争に利用しただけなのか。中継技術の進歩がテレビの戦争を可能にした。伝送装置も車載型の800⁺からスーツケースと呼ばれる僅か50⁺のハンディー型になり、ビデオホンと呼ばれる13⁺のテレビ電話による航空母艦からの出撃状況もコマ送りのようだがナマでレポートした。従軍報道もこれまでにない規模で行われた。

しかしテレビが伝え得たのは一部であって全部ではない。「本当のこと」にどれだけ近づけるかこそ、これからのテレビの役割ではないのか。テレビの「素晴らしさ」と同時に「恐ろしさ」をみせた戦争報道だったと思う。

6 視聴率競争に触まれるテレビ

民放テレビは視聴率が神様。番組の存続を決める。しかし視聴率とは何か。調査会社が1,500万世帯に600台のメーター(関東)を設置して得た数字が全てに優先していいのか。視聴率10%も15%も、誤差±2.5%では同率のこともありうる。番組の評価基準は視聴率だけではないはず。「見られてこそ番組」の姿勢がテレビの将来を危うくしているのではないか。

さらに講師はコンピュータグラフィックスなど映像技術の進歩についてもふれたが、折りにふれユーモアを交えながらすすめられた話の全般を通じて、文化・社会・生活などに関しテレビ放送の果たす役割と影響を深く考えることとなる講話であった。

(記録)

医者と患者の関係を良くする為の心構え話し手 **長町 幸雄**司 会 **西志村 光治**

話をする人：群馬大学医学部名誉教授、医学博士、元群馬大学医学部附属病院長、東京医大がん研究事業団理事、日本消化器病学会理事

1 初診外来受診時を視野にいれて**(1) 医師との付き合い方のあれこれ**

良い患者さんになるための心構えとして、医師と洗いざらい話ができ、追っかけてでも定期訪問したくなる医者を持つ。通院時には、清潔な下着の着用など身嗜みに注意し、親しみやすくしていること。体調や自分の訴えを要領よく伝えられること。通院中、前回よりも良くなった時には、病状を話すことにより、不必要な投薬を中止したり減量してもらえる。病院の特色を良く知り、選ぶ時も研究心をもつ。医師の指導を素直に受け、明るい気分で耳をかたむける。平素からお互いに信頼関係を築くことを心掛けよう。

(2) 医師とのコミュニケーションに必要な患者の心得

初診時の対応に備えて、自分や家族の今までの病気を年令ごとに伝えられるようにしておく。何を問題にして訪問したか、最大要因を要領よく話すこと。生活習慣のスタイルのうち、食事内容や嗜好品なども把握しておくこと。

かかりつけ医を専門医ごと(臓器別)に決めておくこと。他の病院へ紹介状を書いてもらっても使わぬ人がある。必ず宛先の医師に渡すことが礼儀。

2 入院、手術などが必要な場合に備えて**(1) 保証人には誰がなってくれるか、万一の場合の支払いは誰がするのかを決めておくこと。****(2) 生命保険の契約内容を良く把握しておくこと。特に契約日などが支払い時に問題になる。細かい定款内容や契約文章を熟読しておくこと。****(3) 告知の問題、自分の病気についての秘密に関して誰に知らせるか予め決めておく。他人に病状などを憶測で話さぬよう注意すること。****3 良医を選ぶ基準考**

医者は人気が大切であり、信用が特に必要な職種であることを念頭におくと良医の判定に役立つ。

4 医療の変化に対する対応ができているか**(1) 医療は医者任せから自己選択へ変わったことを再確認できているか。**

患者中心の医療にまだ徹していない病院がある。あまりにも専門化した医療に対して「脱専門家たるべし」と言う人もいる。疾患のみを視て、患者を診ないのは困る。わが国の医学教育が医師中心の医学に偏重し過ぎた後遺症である、との説明があった。

(2) 良い医師となるための心構え

医師は病気をもつ人の病気を裁く調停委員である。秘密を守る義務があり、モラルに欠けている人の存在は困る。診療開始時間を守ること。決められた診療日には休まない。身だしなみに気をつける。医師も患者になることを片時も忘れぬような心構えをもつこと。先入観を持たず、個人の価値観を押しつけぬこと。セカンドオピニオンの重要性を再確認して診療にあたる。治療に際して“間”が大切。時には立ち止まって考える勇気も必要。常に高度な医療の質の向上を頭におき、効率ばかりにとらわれないこと。生活習慣病の患者の知識にまどわされない。

その他家庭医、初期治療、認定医、濃厚診療と過剰診療、まるめ、地域支援病院、総合病院、特定機能病院等について解説があった。 病院に親しみをもちつつ、上手に病院を利用するよう心掛けたいものである。

講師は二年前、自分が入院された経験をもち、患者と医師として両面から現場の問題点を素直に、わかりやすく話していただき、健康に対する心構え、医師や病院への対応の仕方について、大変参考になり有意義な2時間であった。

(記録 中野 義光)

日本武尊は八王子を通過したか話し手 **大野 聖二**司 会 **大串 延子**

話をする人：八王子市生まれ。郵便局長を勤める傍ら青少年育成をはじめ多方面にわたる交流を図る。

地域生活文化研究所、他多数の研究・地域文化団体を創設。現在、特定非営利活動法人八王子市レクリエーション協会会長、八王子いちよう祭り祭典実行委員会会長、八王子学会理事長。

はじめに

この数年来、奈良県櫻井市の西部にある、纏向遺跡で発掘調査が進められ、大きい水路や祭殿と見られる遺構や遺物などもあり、他地域からの搬入土器も多く、土器の様式から三世紀頃の首都ではないかと見られている。古事記、日本書紀には垂仁天皇の纏向珠城宮、景行天皇の纏向日代宮の記述があるので、景行天皇の皇子である日本武尊は三世紀終わり頃の人と考えられる。この頃の集落遺跡が、八王子、青梅、あきる野で急激に出現しているので、日本武尊の伝承も裏付けられたと、次のように話を進めた。

日本武尊の東征により通過した日本の各地には、その痕跡が残されているのではないかと、それは古くから伝わる神社と、その祭神に尊が祀られていることや、今に伝えられている日本武尊の伝説、そして各地に遺された国ごとの「風土記」に記されている日本武尊の言い伝えや、民俗などを詳細に調べ実証されて行った。

古社の記録として一番古いものは延喜式神名帳で10世紀前期の朝廷から発布されたものである。その中には全国の古社が記され、その中の一つに八王子にほど近い藤野町佐野川に石楯尾神社があることを発見された。

この石楯尾神社が尊と関連のある神社であることが『新編相模国風土記稿』に書かれている。それによると、尊の東征のおり供奉した「多武彦」が周辺地域の鎮護のためこの地に居住したことや、水に困った軍勢の為に尊が矛で岩を突いて湧水を得たという、これが今に残る「甘草木」ということで地名伝説として残っているのである。そして石楯尾神社は生藤山付近の三国峠に祀られた高座の遙拝地として高座大明神と称されたことも尊との関連を伺わせることが出来る。

古社として注目すべきは石楯尾神社のほかに「日月神社」をあげている。この神社は景行天皇の頃「日の宮」として祀られたもので、佐野川の多氏の勢力圏と見られる「多摩」「都留」「大住」「鮎川」「高座」の五郡と上総、下総に集中している。この五郡にはまた「小野神社」がすべてあり、祭神は「瀬織律比？」だったはずが、「天下春命」や厚木市の小野では「日本武尊」として祀ってあったりする。佐野川の小野神社は八世紀に太政大臣だった恵美押勝が叛乱したとき、押勝を討つ大功をたてた多氏の子孫の「石村石楯」の名を冠し「いわだておの神社」と名称が変えられたのではないかと考察されている。

次に注目すべきものに両墓制がある。この両墓制とは死体の埋め墓と、石碑を建てた詣り墓の二つの墓があるという墓制で、これも日本武尊の東征を証拠だてるもので、前にも述べた尊に供奉してきた「多武彦」が佐野川に住みついてその多氏の影響に間違いのないと言われている。この両墓制は佐野川だけでなく、近くの上野原町西原、桐原、檜原村、青梅にも、つい最近まであったことが確認され、八王子でも上恩方、特に上案下の福源寺には、埋め墓のあとに今は供養塔が建っている。

さて、最後に尊が八王子を通ったかと言うことは、八王子市に御嶽神社が十五社あり、そのうち九社は日本武尊が祭神ということで状況証拠は多いのであるが、決定的な証拠を出すことは難しい。

日本武尊が御嶽山から檜原へでて、川乗から生藤山のコースか、八王子の恩方経由かが考えられる。いずれも古くから開かれた道だが、初めて行くときには展望が大事で、関東平野を俯瞰しながら行ける尾根道が

利用されることが多いので、いまでも「関東ふれあいの道」に指定されている、檜原から市道山を越え海拔856メートルと八王子市で最高所の醍醐丸から西行し、生藤山三国峠のコースが有力である。 三国峠から佐野川への尾根道には日本武尊を祭神とする軍多利神社が途中で遺されている。

古代中世から上野原、佐野川、檜原、八王子は同じ文化圏であった。 佐野川とは余りなじみのない名だが、陣馬街道は昔は佐野川往還と言われていた。

佐野川から甲斐に向かった伝承が藤野町の十月の商工祭の「やまとたけるみこと行列」になっていることを考えると夢がふくらんだような気になる。

(記録 土井 俊文)

中国革命の成否を決めた西安事変と張学良

話し手 渋谷 文雄
司 会 石井 充

話をする人:戦前、中国(旧満州国)に留学、在学中に終戦。八路軍に抑留される。昭和28年、抑留解除となり帰国。経営者団体勤務を経て実業界入り。上場企業の社長、会長歴任。以後、相談役を経て現在日野市在住。ライフワークは中国史研究。

プロローグ

1850年～1950年は、欧米列強のアジア侵攻を契機とし、アジア全体が激動した世紀であった。(明治維新、日清日露戦役、朝鮮併合、辛亥革命、清朝滅亡、中華民国成立、ロシア革命、中共創立、満州国の成立と崩壊、第二次世界大戦、日本敗戦、南北朝鮮独立、中華人民共和国成立等々)

1 満州某重大事件と張学良の易幟

張学良の父張作霖は、東北三省巡閱使、次いで安国軍政府大元帥に就任し、蒋介石の北伐軍と対決した。ここ三省には関東軍の影響力があつたが、張学良は28年6月の皇姑屯における張作霖爆殺事件を契機に12月蒋介石の国民政府側へ易幟を断行し、東北边防軍司令官、東北政務委員会主席として東北地方の経営強化に転じた。

2 満州事変から満州国成立へ

満蒙は日本の生命線であると、関東軍は柳条湖満鉄爆破事件(31. 9. 18)を起こし、次第に戦火を拡大してハルピン等、東北地方の主要都市を占拠し、さらに、宣統帝溥儀を擁立して満州国建国宣言(32. 3. 1)とすすめた。このため張学良は33年3月辞任となり、翌月に上海からヨーロッパへ旅立った。この建国は当然のことながら国際的大問題となり、窮地に立つ日本は国際連盟を脱退(33. 3. 27)する。

3 冀東防共自治政府と冀察政務委員会

張学良は34年1月帰国する。農民を中心に組織していた紅軍は、南部の江西省から西北部の陝西省まで、12500kmの大長征を始めた。北部では関東軍はなおも進出したが、国民党軍は35年塘沽停戦協定を結ぶ。そこで、冀東防共自治政府が樹立され、冀察政務委員会が設置された。この頃中国では次第に反日抗議運動が高まり、33年「12. 9運動」と発展し、また日貨不買運動を展開した。

4 東北軍、西北軍、紅軍の結束

第6次掃共作戦に張学良は西北剿匪総司令部副司令官となるが、東北軍の精鋭の一部が全滅。楊虎城、張学良らは擁蒋、連蒋から「内戦停止、一致抗日」に転じ、36年周恩来も反蒋抗日から逼蒋抗日と転じたので、「内戦停止・一致抗日」で手を結ぶ。

5 西安事変勃発、華清池襲撃

この年の暮れ、民族統一戦線は結成される。12月4日蒋介石は紅軍殲滅の督戦のため西安の華清池に着く。7日から張学良、楊虎城、蒋介石会談を行うが、合意に至らない。12. 9一周年記念集会2万人デモもあり、一致抗日が叫ばれる情勢は続く。11日に張・楊会談、遂に兵諫以外なしとして、決起日時、東北軍と西北軍の役割分担を決定、12日午前6時華清池を襲撃し、10時に孫銘九が蒋介石を逮捕、西安へ護送した。

まさしくこれは中国の運命を転換する大事変であった。全国に声明文が発信されたが、松本重治のスクープ東京への打電は、東京から世界に急報されたのだった。

ここに西北抗日連軍臨時軍事委員会、張主任、楊副主任の設定をみる。周恩来らは西安に入り、張、楊と個別会談、更に蔣・周会談を行い、その合意の結果、25日蒋介石は西安を離れることとなった。ここで蒋命令

により、高官・将官釈放を始め大転換が開始され、真に「内戦停止・一致抗日」で結束することとなった。

26日午後、蒋介石は南京帰着、張学良はなぜか同行する。ところが張はそこで裁判にかけられ、30日に軍事法廷で「上官暴行脅迫罪」禁固10年とされてしまうのだった。

6 抗日戦争、国共内戦、共和国成立

その翌年の廬溝橋事件発生(37.7.7)を契機に抗日戦争は拡大し、新四軍、八路軍勢力は膨張していく。

蒋介石は、日本敗戦に「以德報怨」で対処した。毛・周は蒋介石との連合政府樹立交渉が不調に終わり内戦となるが、不評の国民党は敗走し、中華人民共和国成立(49.10・1)となったのである。

この経過をみれば、この中国革命の成否を決めたのは、まさしく西安事変であると言えよう。

7 張学良、楊虎城のその後

張学良は特赦となり、各地を転々とした後、台湾に渡り、台北に住んだ。90年には90歳の誕生会を催し、2001年ハワイで100歳の生涯を閉じたのであった。楊は49年夫人と共に惜しくも惨殺された。

話に続き質疑や懇談が和やかに続けられ、また西安の碑林の尚書に年号「平成」のもとになった字句「地平天成」があることや、戦争末期8月14日の岡村司令官と陸軍大臣・参謀総長間の電文や詔書の説明等も聴き、西安事変の歴史的位置付けを改めて考え、中国史に及ぼした大きな影響を再認識して終了した。

(記録 浅輪 豊治)

光の小道具と江戸の文化・産業・科学

話し手 永井 昌平
司 会 武田 洋一郎

話をする人：昭和38年早稲田大学理工学部応用物理学科卒業、オリンパス光学工業(株)入社、主として顕微鏡光学系の設計・評価・新しい顕微鏡の研究担当。昭和50年工学博士号取得。取締役、常務取締役歴任。現在、応用物理学会評議員

江戸時代に入り、視るための光学機器がいっせいに舶載された。はっきり視る眼鏡、遠いものを近くにみせる望遠鏡、小さいものを大きく見せる顕微鏡。こうした視るためのハイテク光の小道具は、科学を初め、考え方や文化に大きな影響を与えた。鎖国の中、貿易が許された長崎から多くの光の小道具が輸入されるようになり多くの蘭学者が生まれてくるが、鎖国と言う条件下では限られた情報源しかなく、これが独特の文化を生んでいく。江戸時代の文化を一言で言うと、西洋の合理的・実証的考え方と儒学思想の共存であり、光の小道具が科学に使われるというより趣味・遊びに使われると言う文化である。儒学思想の共存という点では十返舎一九の黄表紙や歌麿の浮世絵など、趣味・遊びに関しては北斎や春信の絵などの例がある。又、遠近法などの西洋画法の例として覗き絵(浮き絵)があげられる。さらに、見世物小屋では七面鏡・さや絵・幻灯などがはやった。

江戸時代の産業は徒弟制度や(新規製造禁止のお触書)などの阻害要因によって機械化された産業には発展しなかった。その中で手工業的産業として栄えたのが眼鏡産業であり、18世紀後半には殆ど国産でまかなうほどであった。その一方、多くの職人が眼鏡産業に参入した結果、技術の秘伝が困難になってきた。近代化への第一歩といえるかもしれない。

眼鏡産業の技術を使って望遠鏡、顕微鏡も生産された。

望遠鏡の技術については、国防上のニーズから生産数も多かったが、その性能はあまり良くなかったようである。その原因は、光学の基礎知識の欠如にあるといっていよい。

顕微鏡の生産量は極めて少なく、幕末から明治にかけてのニーズには応えられなかった。その原因も光学の基礎知識の欠如からであり、西洋の技術について行けなかったのであろう。顕微鏡の国産化は、明治を過ぎて大正にはいつてからである。

光科学の発展に関しては、光学を体系的に捉えた帆足万里の『窮理通』、太陽光のスペクトルを七色とした青地林宗の『気海観瀾』、江戸時代最高の物理学書である川本幸民の『気海観瀾広義』などの研究書があるが、これらはほとんど翻訳に近いものである。又、数理的な取り扱いはなく、間違いも多い。情報量も少なく、独学での研究では限界であったろう。蘭学の啓蒙には役立ったが、一方で科学の遅れが産業の遅れをもたらしたといえる。

望遠鏡の面白い活用例として光通信を取り上げた。

最古の光通信網は『日本書紀』に記され、狼煙と目視で通信を行った。江戸時代には、国防上、各地に遠見番所を設けて船の出入りを連絡しあった。この通信方法は、狼煙と目視から、狼煙と望遠鏡、手旗と望遠鏡に変遷して通信の精度とスピードの向上が図られた。こうした通信は米相場・金銀相場など民間でも使われた。但し、特殊な場合を除いては飛脚が使われたところを見ると、情報を早く伝える必要はなかったのであろう。

顕微鏡は何に使われたのであろう。多くは身の回りの観察しやすいものを見て、その極微の世界に驚き、文章等にしていたと云って良いであろう。研究的なものとしては、日本各地の動物標本のうち微小な虫を顕微鏡で観察した栗本瑞見の『千蟲譜』、飯沼慾斎のリンネ様式による植物図説『草木図説』などがあげられる。また、土居利位の『雪花図説』も有名であり、雪の結晶模様は天保期の一大ファッションとなった。しかし、

これらの研究も西洋の追試的要素が強いことは否めない。

総じて、光の小道具の舶載は江戸時代の大衆文化には大きな影響を与えたが、産業や科学という面では大きな発展はなく、明治を迎えてからということになる。

(記録 北川 博孝)

日本を生きたモラエスの生涯

ー古き日本の良さを再認識するためにー

話し手 梅木 松助
司 会 下山 邦夫

話をする人：つくば国際大学非常勤講師。 哲学・倫理学を専門。 高齢者対象の茨城ゆうゆうカレッジ講師兼任、主として日本と世界の架け橋になった歴史上人物の講義を行っている。

モラエスは小泉八雲ほど知られていないが、ポルトガルから来日し、1900 年日本人女性と結婚して 75 歳で徳島に骨を埋めた文豪である。 その壮絶な生涯をたどり、その生き方を知るとは興味深いものがある。 また、モラエスの著作から日本の良さも再認識させられる。

モラエスは 1854 年にポルトガルのリスボンで生まれる。 21 才で海軍少尉に任官するが、8 才年上の画家夫人マリア・イザベルと恋に落ちる。 背徳の恋はカトリックの戒律を破るものであり、晩年ポルトガルへ帰らなかった理由の一つと考えられている。 1888 年、34 才の時に海軍大尉としてマカオに赴任。 混血女性の亜珍を現地妻として引き取り二人の息子が誕生する。 後に、この二人の息子に遺産を分与する。

1889 年、極東諸港巡航の命を受けてはじめて日本の長崎に来るが、その自然の美しさや女性のかわいらしさなどに感動し、世界に類を見ない幸福に満ちた国と絶賛した。 その後二度にわたって来日し、短編『日本の追慕』、『極東遊記』をリスボンで出版して一躍有名となる。

1896 年再来日し、大阪で松島遊郭にいた芸者おヨネに出会う。 後日、路上でおヨネと再会するが、病気のために芸者を辞めて郷里徳島へ帰るところであった。 1899 年に神戸大阪ポルトガル領事館領事事務取り扱いに就任して日本に住むことになる。 このときおヨネについて詳しく聞かされ、徳島に会いに行く。 地方都市徳島についても古き良き日本という印象を持った。 病気のおヨネを神戸県立病院で治療させ、退院後おヨネを領事館の事務員とする。 二ヶ月後に結婚を申し込み、1900 年 11 月神式で挙式。

献身的に夫につくすおヨネ、質素で謙虚なおヨネを見て、モラエスは日本女性の素晴らしさに感心させられる。 モラエスもまたおヨネの病気を気づかい規則正しい生活を送り、著作活動に専念する。 小泉八雲の追悼文に日本女性についての執筆が残されている。 結婚 12 年目病気が悪化したおヨネは身内のことを頼んで息をひきとる。

おヨネの死後、おヨネの姉ユキの娘コハルと同居するが、コハルの男関係から徳島に帰す。 永原デンを雇うが、半年で出雲へ帰る。 このときモラエスも出雲へ行くと約束するが、徳島に住むことを決め、お詫びの手紙を出し、後に遺産を分与する。 徳島で余生を過ごすことを決めた理由は、①公職から自由になりたかった、②おヨネの墓の側に居たかった、③身内のことをおヨネにたのまれていた、④カトリックから嫌われていた、⑤ポルトガル人共通の心情サウダーデから、などがあげられる。

徳島でのモラエスは方丈記を気取った生活を送り、ひげ面の和服姿で毎日墓参する姿は変な外人としか見られなかった。 再度コハルと住むようになるが、コハルも結核で死亡。 1923 年『おヨネとコハル』を出版。 毎日おヨネとコハルの墓参りをして追慕(サウダーデ)の生活に入る。

一人生活のモラエスは多くの病気を併発し、1929 年誰に見取られることもなく死んでいった。 享年 75 歳。 発見された遺書には、貯金の相続人は二人の息子へ、そのうち半分は出雲の永原デンにと明記されていた。 モラエスがはじめて日本に紹介されたのは 1927 年になってからである。 この年『日本精神』の本が完成した。 死後のモラエスの評価はきわめて高く、七回忌には日本語訳『日本精神』が出版され、佐藤春夫、瀬戸内晴美、吉井勇、中野好夫、新田次郎などがモラエスについて感想を述べている。

モラエスは日本女性について、日本の住居について、年間行事について、日本の家族についてなど、古き良き日本をポルトガルに紹介し、ポルトガルではハーンより高い評価を得ている。

終わりに、ポルトガル人特有の精神的特性サウダーデ (Saudade) について述べた。サウダーデは日本語にも英語にも相当する言葉がなく、人生行路も終わりに近づき、希望がなくなったとき追慕に慰めを求める心情である。また、愛する者の不在によって引き起こされるメランコリックな思いや懐かしさでもある。さらに、望郷、会いたいが会えない切なさ、追憶でもあるが、単なる悲哀ではなく、甘美さと表裏一体をなしているのが特徴である。

作家の新田次郎はこのサウダーデに共感してモラエスの伝記を書き、その書名を『孤愁』－サウダーデー (文芸春秋社 1980) としている。

(記録 永井 昌平)

くらしの法律よもやま話

話し手 成田 章

司 会 山下 安雄

話をする人：多年簡易裁判所判事として民事事件を処理。平成11年定年退官。武蔵野簡易裁判所司法委員。

最初に話し手から「本席はサロンでありお茶もケーキも出される、くだけた、肩の張らない雰囲気です話を進めたい、難しい固いが定説の法律の話を少しでも面白いものに出来ないかと思い、タイトルも「よもやま話」とした」、との前置きで、予め配布された資料をもとに各問いについて事例を紹介しながら説明があった。

1 裁判所の呼び出しを無視するとどうなるか。

Q：貸金請求事件ということで裁判所から呼出状がきました。原告は名も知らない消費者金融会社です。私には全く身に覚えがありませんので無視しました。どうなるのでしょうか？

A：呼出も無視して期日に欠席すると、欠席のまま原告勝訴の判決がなされ、さらに、控訴もしないと判決は確定し、金〇〇円を支払えという判決が確定し、月給の差し押さえとか、所有不動産の競売へと発展しかねない。裁判所から呼び出しがあったら絶対に無視してはいけない。少なくとも裁判所に電話して事情を話して相談すべきである。

なお、この問題は判決の詐取としても報道された実際にあったことである。

2 子のない妻の相続

Q：夫が亡くなりました。子供はありません。妻である私が全部相続できるのでしょうか？

(参加者の意見を聞かれたが、皆さんが「できない」と言う結論はご存知のようだった。では、どうしてそういう結論となるのかについて配布された相続順位図をみながら、相続の開始があると誰が相続人になるのか、そして、その相続分は遺産の何分のいくつなのかについて、具体的に解説があり、また遺言書の作成についても説明、助言があった。)

A：通常、被相続人が年配であれば両親は既にはいない場合が多い。その場合は、妻と夫の兄弟姉妹が相続することになるが、遺産分割協議において紛争が生ずることが大変多い。

そこで、妻が単独相続をする方法がないかということだが、二つの方法がある。

一つは、夫の兄弟姉妹に相続放棄をしてもらうことだが難しい場合が多いと思われる。

二つめは、夫に妻に財産全部を遺贈する旨の遺言をしてもらうことである。単独相続実現のためには、この方法が最善と思われる。

3 連帯保証人になるには覚悟が必要

Q：友人が銀行から借金する際、頼まれて連帯保証人になりました。友人には、過去に世話になったことがあり、それに、絶対に迷惑をかけないというので、断りきれませんでした。その後、3年たってから銀行から友人の返済がとどこおっているのに、利息・遅延損害金を含めて返済して欲しいと請求がきました。友人には不動産もあることだし、あくまでも友人に請求すべきであると主張できないもののでしょうか？

A：保証には、通常保証と連帯保証があるが、連帯保証の場合は友人にまず請求を、と主張はできない。自分が借りたと同じ位の義務が要求される。

4 成年後見制度について

時間の関係で資料の配付のみになった。

以上、各問題について質問自由の発言もあり、活発に質問も出て、極めてなごやかな空気の中に少々時間不足を感じながら話は終わった。身近かな問題でもあり、固い法律の話に参加者は親近感を少しは感じたのではないだろうか。

(記録 大野 幸二)

幕末・維新の多摩 一八王子千人同心の活躍と解体一

話し手 野口 正久
司 会 石毛 節

話をする人：地方史研究家、八王子千人同心旧交會會長、元・八王子市郷土資料館運営協議會會長、八王子文化財審議委員、八王子市元八王子中、二中、七中の各校長歴任

始めに八王子千人同心の概要の説明があり、続いて詳細な史料、図、表などの資料により本題に入る。

1 新しい時代への動向ー尊皇攘夷思想ー倒幕運動

江戸時代末期には、下級武士の幕政・藩政への台頭、農業中心社会構造の変化、諸外国の進出に依る後進地域の植民地化の情勢、天災飢饉に依る世情不安等により、尊王攘夷思想が生まれ、倒幕運動が起こり、火焰の如く広がり、新時代への胎動がはじまった。

2 刀から西洋筒へー個人戦から集団戦へー対内外への備え

時代の変化に伴い、幕府は軍制改革に着手する。千人同心は、幕末まで槍奉行支配であったが、軍制改革によって文久3年2月講武所奉行支配となり、慶応元年9月より陸軍奉行支配となった。文久の改革によって出役に際しては組支配を離れ、各組から出て隊を編成した。

慶応2年10月には、千人同心を「千人隊」と言い、千人頭は「千人隊頭」と呼称するよう命ぜられた。かくして、千人隊之頭及び一族・同心の中から陸軍奉行所に出仕する者も少なくなかった。

千人同心は、新兵器西洋筒で武装されるようになった。安政2年には「鉄砲9挺渡る」とあり、翌年砲術稽古に江川太郎左衛門へ入門を命ぜられた。数年の間に西洋筒も850挺拝領し、市内散田向原、芝新銭座教練場での訓練が命ぜられた。当時『小隊教練号令順次』と言う本が千人隊之頭河野仲次郎の手によって、編纂出版されたことは特筆されるべきことである。

3 千人同心の出役

將軍上洛供奉を始め、数多の出役が命ぜられたが、特に甲府賊徒追討(天狗党)には、日光勤番その他の出役、頭・隊士を除き残る頭・隊士全員に出役が命ぜられた。また、慶応元年5月第二次長州出兵には、頭3名、隊士400名(槍方100名、砲術方300名)が出役の命を受けた。この出役は、大阪在陣を経て、翌2年6月広島出陣、続いて小倉表に転戦、同年7月30日幕府軍が長州軍に敗れ、小倉から大分の日田、海路松山城下へ撤退、同年10月居住地に引揚げ命令が出て、千人隊は11月に八王子に帰った。

大阪在陣中20余名が没し、大阪の大覚寺に手厚く葬られた。

4 戊辰戦争と千人隊

慶応4年1月2日、烏羽伏見で起こった戊辰戦争によって徳川氏は賊軍とされ、官位、領地は没収された。然し、徳川家は大局を見て、国内の混乱を避ける為、恭順せよと家臣に達した。千人隊は、徳川家の恭順の意をくみ順守するのである。然し、旧幕府家臣の中には、非恭順を唱える者も少なくなく、2月8日には陸軍八聯隊が脱走し、甲府城確保に向かった。勝安房守は、千人隊にその鎮静取締を命じた。また、3月元新選組は甲陽鎮撫隊を結成し、甲府出撃を計った。その計画に千人隊にも同調を求め書簡を送った。千人隊は「上司の命が届いていない」とその求めに応じなかった。

慶応4年3月11日、官軍東山道軍が八王子に進駐した。千人隊は丁重にこれを迎え、千人隊之頭連名で恭順の意を表し、徳川家の家名存続と復権を願い、徹夜で交渉したが成果を得ず、止むなく誓詞血判書を提出した。

閏4月10日、千人隊之頭石坂弥次右衛門は最後の日光勤番を果たして帰郷した。その頃陸軍の脱走兵が八

王子に来るとの風評があり、千人隊は恭順、非恭順の議論が起こっていた。石坂は、戦わずして日光引渡したとの責を負って、その夜自宅で自刃した。

風評は、現実となり閏4月12日、歩兵脱走兵が八王子上野町に屯集した。八王子に来ていた陸軍奉行並多賀上総介は、これ等を説得して、江戸に引揚げさせた。

4月22日多賀上総介は、八王子周辺の治安維持のため、千人町宗格院に「千人隊取扱所」を開設し、治安維持と脱走兵対応に当たさせた。

上野を中心に、非恭順武士の決起の風評の中、多賀上総介が江戸に帰るに従って、千人隊之頭河野仲次郎、組頭日野信蔵は「八王子方」を組織し、上野御霊屋・芝増上寺警護と称し千人隊士が数団に分かれ、計192名が江戸に出向き上野戦争に加わった。

戦場で隊士原子剛が戦死し、川口町法蓮寺に埋葬され、後に顕彰碑が建てられた。また、6月に入り河野・日野に対し、新政府から上野戦争加担を理由に召喚状が出され、甲府一蓮寺に1年3ヶ月幽閉された。

5 徳川家の解体と千人隊

慶応4年5月、新政府は徳川家に対し、家名存続と駿府70万石の領地を与え復権した。然し、駿府70万石では多くの家臣養い難しと一部随従家臣を除き、着農か王室従事の選択を布達した。千人隊之頭及び家族は随従歎願が認められ、同心3名が同行した。他の同心は着農者864名、新政府出仕(護境隊)30名(後に65名)とそれぞれの道を選んだ。明治2年末より静岡移住が許され、着農同心家約300家が静岡に移住した。

終わりに

激動期に生き、明治という新しい時代を迎えた同心家の或人は「父常ニ教ヘラク、功ニシテ学バズシバ、老イテ悔ユルコトアルベシ。又曰ク、蔵ノ内ノ財ハ腐ツルコトアルベシ、身ノ内ノ財ハ腐ツルコトナシ」と論じたという。

この話ののち、いくつかの質疑応答も行われて、維新前後の八王子千人同心に関する有意義な学習を終了した。

(記録 浅輪 豊治)

世界の歌めぐり 音楽めぐり

話し手 五十嵐 淳
司 会 立川 富美代

話をする人：八王子フィルハーモニー合唱団の指揮者。 ピアノ演奏の**畑野かん奈**さんはその伴奏者。

この会の参加者の要望で、歌う、聴く、そして知るという三本立ての内容にしていきたい。 音楽の歴史のターニングポイントとして1600年がある。 印刷術・楽器の改良・演奏会場・そして勿論社会背景などで大きな転換があった。(日本で言えばちょうど江戸時代の始まりと符合する) 大きな違いは小さな規模から、大規模な演奏形態。 そして、自作自演の生活の音楽から、プロによる作曲、プロによる難度の高い演奏へ。 しかし、1600年前の身近な音楽こそ、楽しく、自己表現が容易のような気がする。 特に親しい仲間との人間関係の中から生まれる自作自演の歌には愛すべきものがある。

森繁久称がロケ地の人々と悲しい別れの饞別に作った「知床旅情」、その親友の宮崎康平の酒席での愛唱歌「島原地方の子守歌」、宮崎康平を慕って島原に通った、さだまさしの友達との別離の歌「精霊流し」。どれも歌の生まれた背景と心が生きている自作の歌である。 なかなか誰もが歌を作るという力を持っていないが、自作の歌をもてれば素晴らしい。 私もある人とのつながりの中で、「ランドセルをしょったじそうさん」を自作した。 自作の紙芝居と共に聴いてほしい。

【世界の歌めぐり】

1 ドイツの歌

ドイツの歌はまとまりがよく、起承転結の形で出来ている。「繰り返しと変化」の妙。

「ローレライ」「別れ」そして明治の音楽黎明期にドイツで学んだ滝廉太郎の「花」。

滝廉太郎とのつながりで今回の気になる作曲家としてシューマンを取り上げる。 ロマン派の代表的な作曲家で、文学や評論の分野でも活躍した。 妻クララとの熱い恋愛は有名で結婚した年は「歌曲の年」と言われるほど、美しい歌を沢山作った。 ただし、少し偏執の性格があり、最後は自殺を試みたり精神病を患ったりして46才の若さでなくなる。

「トロイメライ」「美しき五月に」ピアノ演奏。

2 イタリアの歌

情熱的で旋律がきれい。 特徴は下降系の旋律が多い(日本は上昇系)。

「サンタルチア」「帰れソレントへ」

近頃の子供や若い人は声が小さい。 遊びの室内化やマイクの普及等の影響か。 肉声の美しさにもっと気づいてほしい。 日本にはお経や声明があり、それぞれの人の持っている声の高さで声を合わせると西洋の和音とは全く違った奥の深い響きを聞くことができる。 マラソンにランニングハイという快感の現象があるが、声も20分以上出し続けていると不思議な快感におそわれるもの。 小さな声では体験できない。 少し大きめの声の方が気持ちがいい。

3 フランスの歌

始めにしゃべるような部分(クープレ)があり、その後美しい旋律(ルフラン)が出てくる。

「愛の讃歌」「スマイレの花咲く頃」

4 イギリスの歌

スコットランド地方にはファとシの無い曲が多い。 明治時代に西洋音楽を取り入れたときに半音のとり

くかった日本人が教材に取り入れた。

「故郷の空」「蛍の光」

ファとシの無い代表的な日本の曲に「夕焼け小焼け」がある。関東大震災の焼け跡から子どもの死を悼む大人たちから歌われ、全国に広まった。同じく「赤とんぼ」は日本語のアクセントに問題があるが、映画「ここに泉あり」で歌われ、広まった。

5 アメリカの歌

2002年「大きな古時計」

平井堅が愛唱歌としてコンサートで歌い続けて広まった。愛唱歌を持つことはすてきなこと。部分的に好きなだけでも歌の世界が広がる。

終わりに

朝鮮に「リムジン河」という美しい曲がある。祖国が二つに分かれた悲しみを歌っている曲だが政治的な立場を越えて胸を打つ。「音楽に国境はない」という言葉があるが「音楽は国境を越える」のだと思う。

9.11の慰霊祭で、あの広場で各国がそれぞれの鎮魂の曲が歌われたのも感動したし、朝鮮半島の北南の人々がスポーツの場で「アリラン」を歌う場面でも感動した。その国の音楽をきちんと演奏すれば他の国の人にも必ず心が伝わるもの。自分たちの国の音楽や外国の音楽を大切にしていきたいものである。

参加者の皆さんの素敵な歌声にも感動した。

(記録 広瀬 智子)

シルバー・エイジを輝いて過ごすために パートII

—熟年世代のからだと気持ち—

話し手 石田 雅巳

司 会 北川 博幸

話をする人：日本医科大学卒業。 都立府中病院産婦人科医長、新宿赤十字病院第一産科部長、八王子保健所長、介護老人保健施設ハートランド(ぐらんぱぐらんま)施設長等を歴任。 現在も医師、思春期保健相談員、セックス・セラピスト等として活躍中。

「年をとるということは、若いということと同じように、神聖にして美しい使命である」—ヘルマン・ヘッセ。わが国の65歳以上の人口は18%を超え、文字通り超高齢社会に突入した。しかし、まだ高齢者にとってやさしい社会とはいえないのが現実である。其の長寿とは、お年寄りが、「長生きをしたい」と心から思い、周囲の人にとってもそれが幸せであることであろう。また、「生きる力」「生きる心は老いに対する不安の否定でもあり、最終的には死に対する恐怖の否定である。老いに対する不安を取り除くことは、合理的に老いを理解することではないだろうか。その上で、与えられた長い人生、男として女としてどう生きるかを考えることは、一人一人が真剣に捉えるべき大きな課題である。

話し手の所属する日本性科学会のセクシュアリティ研究会では、「男と女のよい関係」を求めて、40～70代の夫婦のアンケート調査を行い、1000人強の回答を検討・分析しその結果の一部が提示された。パートIでの「男女の心身の差」の再解説に始まり、男女の生活、昔と今を戦中・戦後の経済・社会の大転換期を背景に振り返ってみると、受けた教育や結婚した時代が違えば、自ずと恋愛観・結婚観・倫理観・生活の価値観などに大きな異なりがある。山本夏彦氏は本当の戦後は昭和35年以降と言っている。嫁の生活・浮気は男の甲斐性・姦通罪・選挙権など現在までの変遷を結婚の形態(見合いか恋愛か—60代後半から半々になる)から説明。

石垣綾子の「主婦という第二職業論」を端緒として男女分業論争を経て女性の社会進出がはじまり、「差別撤廃条約」「育児休業法」その他女性の意識改革と共に経済的・社会的自立の基盤整備も進行、新しい男女関係が生まれてきた。しかし、いまだ男性優位の体質は調査結果に認められる。

「現在の結婚生活に満足か」「配偶者に対して愛情があるか」「共に過ごす時間は」「どんな交流を求めるか」などの質問では夫と妻の間に数値よりも内容的にかなりの差があり、特に性に対する志向の違いは男女間での基本的な相違の存在によって「熟年夫婦の不満」「離婚・不倫願望」の結果にあらわれ、更には、「家庭内別居」「定年離婚」などの社会現象にまで発展している。若い時には気づかなかったその意識差が熟年になると抜き差しならぬ亀裂となることが多いが、原因は男女の心身の相違をお互いに理解しておらず、その上、日常のコミュニケーションレスがそれに拍車をかけているのが一般的である。性的倦怠と慣れによる惰性、起伏のない日常の繰り返しが新鮮な快楽を求める。それは夫も妻も同様で、めくるめく性の世界は、極端に言えば結婚を境に遠のいていくものである。不倫が新鮮なのは、日常性がないからである。互いのすべてが好ましく感じられる情欲と鮮烈な情感をいつまでも保ち続けられないのは多くの夫婦を知っているが、それをどのような形で変換させ昇華させるかは、互いが責任をもって工夫し努力するしかないが、その結果育つものは「許し合い分かち合える性」である。

「性は人格の大切な一部」であり、その正しい理解こそ男女のよりよい関係の基礎となる。「性の本質は生殖・快楽(心理的要素が重要)・連帯であるが中高年からは、パートナーシップとスキンシップのウェイトが大きくなる。そこで立ち入った質問「性に関する考え方」「重要度」「支障になる事柄」「欲求不満」「望ましい関係」などから、夫婦関係の実情を分析、年齢ごとに社会的・経済的そして肉体的変化によって二人の関係性が変動することが示され、充実した高齢期へ向けてその土台をしっかりと固めねばならないのは、40～50代のいわゆる

る更年期前後であることが強調され、奈良林祥氏初め性科学の識者達の含蓄ある教訓を含んだ言葉と共に、まとめとして次の5項目があげられた

【よりよい夫婦の5つのポイント】

- ①ともに過ごし、ともに活動する時間・会話を増やし、夫婦関係を豊かにする。
- ②性的関係における男性中心の考え方や行為のあり方を認識し、男女が対等な性的関係を作り上げていく。
- ③女性も自分の欲求や体の状態について伝える努力をしよう。
- ④互いの身体状態を理解するために加齢による性的機能の変化、性障害への対処法などについて知識を得ておこう。
- ⑤性交渉の有無にかかわらず、多様な愛情表現、身体的触れ合いを大切にしたい。

以上の内容の話で質疑応答に入った。男性参加者の感想としては、これから配偶者との良い関係を更によくしていくのは仲々大変だなあということではなかっただろうか。

質問としては

「最近若い人の間で結婚しない人が多いのはどうしてでしょう」という問いがあった。その答としては「一人でいる方が気楽で、二人の人間関係を新しく築いてゆくことにためらいの気持が強いのではないか」とか、「日常的にも一人の生活がし易い社会環境にあるからでは」ということであつた。

このことの問題点とか、善し悪しのことまでは時間的にふれることはできなかった。

(記録 土井 俊文)

四国八十八ヶ寺の歩き遍路を体験して

話し手 矢崎 安弘

司 会 向山 光春

話をする人：東京都蒲田生まれ、少年時代を八王子で過ごし、終戦直後八王子を離れる。その後舞い戻り30年。
カナダ大使館勤務。 カナダの鉱物資源、木材、建材などの対日輸出促進、住宅工法の日本への導入及び普及に尽力。

1 事前の準備

お遍路は昨年(平成14年)9月2日から10月18日までの47日間で実行した。全行程は1,400キロの長旅なので、5月から8月までの4ヶ月間、筋肉トレーニングに励み、体重6キロの減量に成功。一方、インターネットで検索し、「へんろみち保存協力会」が発行している歩き遍路専門案内書と地図及び遍路宿のリストを購入。実行の時期、所要日数、巡拝プランの立て方、各札所距離、装備と携行荷物等について詳細なアドバイスを得る。

具体的には、一日の歩行距離は25キロから30キロ、歩行時間は10時間以内にする、歩行速度は早足で時速4キロ、並足で3.5キロ、遅足では3キロ。リュックの重量は、男性は5キロ、女性は4キロ以内。靴は軽登山靴で普段履くサイズより1.5から2センチ大きいもの。雨具はマント式のポンチョ。

2 お遍路開始

9月2日に羽田を発ち、徳島の第一番霊山寺に着き、遍路用品販売所で、白衣、輪袈裟、菅笠、金剛杖、数珠、納経張、納め札、等を購入し、遍路姿になる。店のおばさんから、注意事項を教わる。菅笠は梵字が前、「同行二人」の文字を後ろ。金剛杖は宿に着いたら、杖の先を水で洗い、部屋の床の間に置く。橋の上では杖をつかない。数珠は右手の中指と左手の人差し指に、一回ひねってからかける。納め札には、予め住所、氏名、年令を書き入れ、お接待を受けたら、快く受け、丁重に札を述べ、お返しに納め札を渡す。寺でローソクや線香に火をつける時絶対に貰い火をしてはならぬ、必ず自分でつける。寺では、山門で一礼、次に水で口と手を清め、本堂、大師堂の順で参拝し、最後に納経所。一番寺を『打ち』、緊張と不安のうちに、二番札所を目指して、お遍路の第一歩踏み出す。寺に参詣することを『打つ』と言う。語源は、昔は木札を釘で柱に打ちつけたことから。そして、一番から八十八番まで番号順に打つのを、『順打ち』、逆回りを『逆打ち』と言う。一日目で5つ、二日目で6つの寺を打つ。炎天下の歩行からくる疲労のため、早くも食欲を失くし、ご飯を食べられず、おかずだけをビールで流し込む。三日目は道中での最大の難所（「へんろころがし」と呼ばれる）、第十二番焼山寺。ここの山中で迷子になり、目的の宿につけず、道半ばに在る小さな庵に泊まる。その後の、歩き遍路の典型的な一日は、朝5時半起床、6時朝食、6時半出発。昼食は沿道の食堂、ラーメン屋。無ければコンビニ。一切無いときは、宿でおにぎりを作ってもらおうと思っていたら、夏場は駄目と言う宿が多々あった。日中は、単独で、地図と道しるべを頼りに一心不乱に歩く。次の宿には、午後3時から4時の間に着くようスケジュールを立てた。宿に着いたら、着ているものを洗濯機に入れる。全ての宿に全自動洗濯機と洗剤が置いてあり、ほとんどの所には乾燥機もあった。100円を入れるコイン式のものが殆ど。夕食は5時から6時の間で、食事前にお風呂の声がかかる。風呂上がりには、足の治療をする。夕食が終わると、翌朝の朝食の時間を女将と交渉し、6時半に出発できるようお願いする。部屋に戻ると次の日の行程をチェックし、宿を決め、携帯で予約を取る。就寝は、早いときは7時半、遅くても9時半には床につく。お遍路宿の大半は民宿で、一泊二食付きで6,500円から7,500円。お遍路には『お接待』がつきもの。実に大勢の人から諸々の『お接待』を受けた。まるで決まり文句のように『お遍路さん、お遍路さん』と呼び止められ、近づく『ご苦労様です』と挨拶され、別れに『お気をつけて』

と送り出される。100円頂いた老婆、チオビタドリンクをソット差し出したおじさん。自動車を止めて冷たいジュースをくれた職人さん。きゅうりをくれた農家の奥さん。また、大勢のお遍路さんに出会った。一流企業の海外工場建設の責任者を勤めた人。ホテルの西洋料理のシェフだった人。10年間毎日、朝6キロ、夜6キロウォーキングし、定年退職するや、待望のお遍路にやってきた、59歳の長崎の人。百名山を踏破した北海道の人。会社が倒産し再就職で悩んでいた50歳の大阪の人。お遍路さん以外で忘れ得ぬ人もいる。脳溢血で歩けなくなり、お賽銭を預かった人。寺の境内で話しかけてきた老人。この人は、神戸大震災の罹災者で、地獄を見てきた人だった。人が崩壊した家の下敷きになり、「助けて、助けて」の叫び声。家族は名前を連呼し励ますが、誰も何も出来ない、そのうち火が回ってくると「熱いよう、熱いよう」になり、声が途絶える。やっと救急隊が来ても、三回声をかけて返事がないと、次の現場へと飛んでいってしまう。世の中には辛い体験をした人がいるものだ。

3 お遍路の起源

毎日新聞社が主催した『空海と遍路文化展』で得た知識の紹介があった。八十八ヶ寺をユネスコの『世界文化遺産』に登録申請しようという運動が四国にあり、この展覧会は、この運動促進のキャンペーンの一環であった。弘法大師空海は、西暦774年に香川県善通寺市で生まれ、西暦835年に61歳で死去。若い頃、辺地修行者として、四国各地を回り修行を積み、悟りを開いた。後年、弟子たちが、弘法大師の誕生地や遺跡を巡った仕来たりが習慣化した。これに大師信仰の信徒が参加するようになったのが、お遍路の始まりである。

八十八ヶ寺が霊場として選ばれたのは、江戸初期であるとするのが通説。明治初期には神仏分離、廃仏毀釈の政策で衰退したり、『乞食遍路』『病氣遍路』が生まれ、警察による『遍路狩り』が行われた。今では健全なものになり、『車遍路』が花盛りである。

4 最後に

私の四国の一般印象は、コスモスが沢山あり綺麗だったこと、蕎麦屋が無く、うどん屋さんだけだったこと、たこ焼き屋さんが多かったこと、無人コイン精米所が、やたらと多かった、善良で親切な人が多いこと等である、と結んだ。

(記録 中野 義光)

懐かしの映画とその音楽 V

話し手 立川 富美代

司 会 大高 秀夫

話をする人：服飾デザイン・縫製企画等の会社経営。 青少年育成・社会教育団体指導など幅広く活動。

最近では国際文化交流事業の推進にも努力。 現在、ガールスカウト八王子連合会会長、八王子フィルハーモニー合唱団団長、八王子フィルハーモニー管弦楽団顧問。

「第5回目を迎えて少しリニューアルしました。 1950～1960年代の懐かしい映画のVTRが入手できなくなったのが大きな理由です。 音楽だけでしたら、素晴らしいCDやテープのある時代ですので、やはり目で見て、音を聴く楽しみは必要ですのでVTRがないのは「懐かしの映画音楽」と言うタイトルをかえることにしました。今回は1本の映画、そしてその音楽を中心にしてみたいと思いました。中心の映画の前に2～3曲見て、聴いていただいてから進めます。」このような話しがあつて始まった。

① 愛情物語（エディ・デューチン物語） 1956年 コロンビア映画

監督 ジョージ・シドニー 音楽 モリス・W・ストコフ

ピアノ伴奏 カーメン・キャバレロ

主演 タイロン・パワー（血と砂ほか）、キム・ノバック（ピクニックほか）

職を求めてニューヨークにきた若いピアニスト、エディ・デューチン。 仕事がなく途方にふていて彼のピアノを聴いた銀行家の娘、マージョリーが、応援してくる。 そして2人は恋に落ちて結婚する。 そして自分のバンドを率いて成功するが、悲しくもマージョリーは白血病で死ぬ……。 カーメン・キャバレロの弾く「愛情物語のテーマ」ショパンのノクターン作品9-2の華麗な演奏を聴いた。

② ブルーハワイ 1961年 パラマウント映画

監督 ノーマン・タウログ

主演 エルビス・プレスリー、ジョーン・ブラックマン、アンジェラ・ラズベリー

アメリカ・ミシシッピ生まれのプレスリー（1935-1977）は、トラックの運転手から世界のエンターティナーとなる。 ロックン・ロールの神様といわれたが、彼の音楽は、ロック、ゴスペル、バラード、どの分野でも人の心をゆさぶる歌であった。 1977年8月16日に突然死亡するが、没後25年の記念イベントは全世界で行われ、レコード売り上げ総枚数は1億枚をこえた。

彼の歌の根底には毎日の生活の苦しみ、哀しみを希望に変えようと訴えた。 黒人スタイルを入れた音楽や動きは白人社会から排斥運動が出たくらいだ。 なぜ人は争うのか、なぜ人は差別をするのか、でも自分たちは夢をもっていれば、きっと理想の社会をつくられるというメッセージを送り続けた。

映画を見ながら、彼が歌う曲、「ブルー・ハワイ」「ハワイアン・ウェディングソング」を静かに聴き、その甘い歌声を味わった。

③ 道（ラ・ストラダ） 1954年 イタリア映画

監督 フェデリコ・フェリーニ

音楽 ニノ・ロータ

主演 ジュリエッタ・マシーナ（フェリーニ監督夫人）、アンソニー・クイーン

1954年 ベネチア・サンマルコ銀獅子賞受賞

1956年 アカデミー賞外国映画賞受賞

1957年 キネマ旬報外国映画ベストテン1位

この映画は全編を見た。 おおよそのストーリーは、金で買われたかわいそうな娘、力持ちの大道芸人のザンパーノに尽くすだけ尽くし、捨てられる。 数年たってザンパーノは年老いて仕事なくなる。 ある町でいつも娘がくちずさんでいたメロディを聞く。 それはこの土地で死んだ貧しい女が子供達に教えていたものと知る……。

哀切きわまりないテーマソングは大ヒットした。 たしかに、この映画は、それぞれの人物の心を描いた物語とともに、深く感動を与えるものであった。

詳しい話とともに、往年の名作である映画と音楽を楽しみ、まさに時を忘れる程であったが、その感動の余韻を味わいつつ散会した。

(記録 大野 幸二)

井戸端会議～みんなで八王子を語り合おう～

話し手 宮崎 浩平

司 会 石井 實

話をする人：1936年八王子大横町に生まれ、八王子に育つ。代々、八王子生まれで八王子に詳しい。 日立クレジット(株) (現日立キャピタル) 退職後、郷土史を学ぶ。現在、八王子古文書を探る会、古文書を読む会会員。古文書所在調査員。

サロンの目的は話し手の一方通行の話を聞くだけでなく、参加者全員が語り合うことも一つの主旨である。

今回は新しい試みとして、戦前の八王子の町を題材に、横丁がどこにあった、あそこにあんなものがあった等について皆さんと語り合ってみたい。 したがって、話し手としては導入の話を受け持ち、あとは話し合いの進行役を努めるつもりである。 この試みが成功すれば、八王子の歴史、文化、生活などについても同様の企画を行いたい。

資料の地図は大正9年の八王子市の地図である。 八王子に市制が敷かれたのは大正6年であり、その3年後の地図であるから当初の地図と大きな違いはない。 市制を敷いたのは関東で9番目、東京でははじめてである。

当時の八王子の人口は40,733人、6,900世帯であった。 地図の裏には、この地図を作るにあたって協賛した店の名前があり、現在でも残っている店もあって興味深い。

八王子駐車場の位置は、現在の八王子駅より若干西に寄っていた。 駅の北側には府立織染学校(現八王子工業)、女学校(現南多摩高校)があり、裁判所も既に上野町にあった。 また、市役所は八幡町にあった。 こうして見ると、当時から学校や官庁関係が多かったことがわかる。 目抜き通りは八日町の甲州街道沿いで、地図の裏に出ている店はほとんどこの近辺にあった。 また、この地図には地番が付いている。 現在でも、本籍にこの地番が使われている。 地番が細長いのは、京都と同じで、間口の広さで税金が決まったために、間口を狭くして奥行きを長くしたためである。

プロバス日より第88号に石井充会員が横丁の話を書いていたので、横町について触れておく。 現在の駅前銀座通りには按摩長屋があったことから、按摩横町と呼ばれていた。 その西隣の道が鉄砲横町である。 駅馬車業者の山田菊次郎が、喧嘩の際にピストルを発砲したことからこの名が付いた。 現在のみずき通りは小谷横町と呼ばれていた。 更に西へ行くと、横町宿があった大横町になる。 この道は大善寺につながっていることから大善寺横町と呼ばれていたが、後に大横町となり、横町としては最大の横町である。 大横町の南が梅原横町であり、呉服商の梅原氏の土地であったことからこの名が付いた。 現在、梅原横町とは呼ばなくなったが、中央線の踏切には梅原横町踏切と書かれている。 さらに西へ行くと本郷宿のあった本郷横町、その南には桜横町がある。 千人町に入ると、千人同心の練習馬場あとの馬場横町がある。 これらの横町はすべて甲州街道につながっているが、甲州街道につながらない唯一つの横町としてご無沙汰横町があった。 事業に失敗した人がこの横町に逃げ込むと借金取りも来なかったことからこの名が付いたといわれている。 また、妾が多く住んでいたからという説もある。

小さい頃の遊び場であった浅川には五つの橋しかなかった。 東から大和田橋、暁橋、浅川橋、萩原橋・水無瀬橋であり、ほとんどは大震災後にコンクリートの橋になった。 また、浅川の地下水は甲州街道の下を流れていた。 南多摩高校の前、子安神社あたり、第6小学校の上の公園など、多くの場所から湧き水が出たのは地下水のためである。 さらに、八王子駅に地下道がないのも、湧き水のために地下道が掘れなかったためである。

この地図を詳細に見てみると色々なことがわかってきて面白い。 たとえば、お寺に色付けをしてみると、い

かに多くのお寺があるかがわかる。また、寺町にはお寺がなく、新たな興味がわいてくる。裏の店も詳細に見ていると面白く、プロバス会員にゆかりの深い店なども発見できる。

以上で導入の話を終え、参加者との語り合いに入った。

話は市内電車に始まり、三業組合、遊郭の話に発展。さらに八王子から見た富士山の話、八王子城趾の霊の話、織物の話等々、まさに井戸端会議であった。

最後に、山車や御輿、高尾山や陣馬山、湧水など、八王子の良いところを活用して、八王子の町の活性化になげようという建設的な議論で幕を閉じた。

初めての試みであったが、まさにサロンの一つの目的を達した感があった。こうした講座をさらに発展させるため、多くの意見を期待したい。ただ、あちこちで話の花が咲き、記録者泣かせであったことを付記しておく。

(記録 永井 昌平)

宮沢賢治の詩「雨ニモマケズ」に学ぶ

話し手 近藤 泰雲

司 会 須藤 英雄

話をする人：長野県飯田市出身。東京都立高等学校事務長、全国公立高等学校事務長会の調査・研究・総務部長を歴任。退職後、仏門に入り修行。現在、郷里の寺と八王子での半々の生活。

「親しまれている詩「雨ニモマケズ」にしばって、賢治の精神と生き方を皆さんと一緒に学びたい」、との前置きがあり、その生い立ちから話が進められた。

1 「雨ニモ～丈夫ナカラダヲモチ」

病床にいても、困っている人があれば、即座に「ジブンヲカンジョウニイレズニ」困っている人のために尽くした。6歳の時、赤痢に罹って以来内臓が弱く、いわゆる腺病質の体質だったのであろう。短い生涯の中で、もっともつとしくなくてはならない仕事が、いっぱいあったにも拘わらず、自分の命が長くないことを悟った時、風雪に耐え得る体が欲しかったという願望がほとぼしっている。

2 「欲ハナク～ワラッテキル」

人間には、悲しいかな財欲・名誉欲・色欲等がある。そんな欲は一切いらない。その欲を棄ててしまえば、怒ることも、人を妬む心もなくなって、いつも心穏やかに、「ニコニコ」していることが出来る。科学の進歩に対して、人の「心のありよう」の進歩のないこと。この「シヅカニワラッテキル」という心の平安は「少欲・知足・瞋の克服」を実践している人に与えられる至福の天与の恵みである。

3 「一日ニ～野菜ヲタベ」

少欲・知足の実践例。賢治は、評論家ではなく、常に有言実行家であった。

4 「アラユルコトヲ～イレズニ」

一番難しいこと。誰よりも自分を可愛がり、いつも自分の尺度で物事を考え、意の如くならないと腹を立てる。自分を勘定に入れないからこそ、「イツモシヅカニワラッテキル」ことが出来る。自分を捨てることの難しいこと。賢治はその難しい捨身を実行し、若くして亡くなってしまった。だからこそ、賢治がいつまでも愛され、讃仰されるゆえんであろう。

5 「ヨクミ～ワスレズ」

総ての現実をよく見て、よく話を聞いて、よく理解して、その上で忘れることなく、常に心に止め、そして今、自分に何が出来るのか模索し、それを実行した。

6 「野原～小屋ニキテ」

少欲・知足実践例。たとえあばら家でも住みようによっては、天国ともなる。

7 「東ニ病氣～看病シテヤリ」

病人に対する真実の愛は、まず看病であらう。立派な花束やお見舞いの品よりも、まず行って看病する。貧富に差はなく、また気持ちさえあれば、誰でも行えること。今でこそお医者さんに気軽にかけられるが、昔は仲々難しいのが実状であった。

8 「西ニ～東ヲ負ヒ」

自分を勘定に入れずの実践。母はこの場合、近所のおばさんに限らず、自分以外の人。困った人をほっとけない、賢治の姿が浮かぶ。

9 「南ニ〜イトイヒ」

死ぬことは、未知の世界に往くこと。 誰しもが不安であり、恐ろしいと思う人もいる。 「コハガラナクテモイイ」と言うのは、簡単のようで仲々難しい。 云う人・聞く人・死に対する考え方の三つが整ってこそ、聞く人が納得し往生できる。 九州博多の酒税な禅画を書かれて有名な仙涯和尚の死ぬ間際の言葉が「死にとうない」と言う言葉だった。 どうしても、往かざるをえないなら、お世話になった人達に何か心に残る言葉を添えて、延命の措置などしないで、堂々と楽しみながら、往きたいもの。

10 「北ニ〜ヤメロトイヒ」

我欲の世の中だからこそ、喧嘩や訴訟が起きる。 「欲ハナク」「決シテ瞋ラズ」「ジブンヲカンジョウニイレズニ」の世界には、もめごととは起こらないし、あの世に何一つ持つてはいけなかったとき、争いが空しくなり、「ツマラナク」なる。

11 「ヒデリ〜オロオロアルキ」

人間は所詮自然に逆らうことは、不可能である。 良寛云うところの「災難に会うたら、災難に会うがよろしかろう」一見冷たいようにみえるかもしれないが、自然の恐ろしさ、ありがたさを謙虚に受け止めることが大切。

12 「ミンナニ〜クニモサレズ」

生前役立たずと呼ばれた人に、死後世に名を残した人は多い。 良寛は「名主の昼行灯」と呼ばれた。 生前の巧言令色はすくなし仁かも。 「クニモサレズ」従って、世間の風評に惑わされずに自分の生き方を貫いて生きていける。

13 「サウイフ〜ナリタイ」

精一杯努力して、その後は『祈り』『念ずれば花開く』。 この詩は、賢治の祈りと願いと短い生涯の実践記録であると同時に人類への遺言であり、すばらしい贈り物かと思う。

賢治は短い生涯にも拘わらず、立派な作品を残した。 今もって賢治の作品が親しまれ、賢治の故郷を尋ねる方が多いのも、この「雨ニモマケズ」の詩一つとっても、お分かりかと思う。 賢治は「人の苦しみ」や「人の悲しみ」を「自分の苦しみ・悲しみ」として実践した立派な人。 この詩を味わいながら、少しでも賢治の心に近づき、評論家ではなく、実践したいもの——このように講話を結んだ。

(記録 成田 章)

映 画 の 中 の タ ン ゴ

話し手 平原 俊彦

司 会 松尾 信一郎

話をする人：八王子生れで八王子育ち。日本コロムビア(株)理事、洋楽部長、国際本部長等歴任。

タンゴは、その歯切れのよいリズム、情熱的な踊りなどの魅力で、昔から沢山の映画に使われてきた。それらの中には、私達の思い出に残る多くの名場面がある。

古くは、シャルル・ボワイエとジーン・アーサーが夜を徹して「ラ・クンパルシータ」他を踊る有名な場面の『歴史は夜作られる』、ビング・クロスビーがオーストリアの伯爵夫人に向かって「奥様お手をどうぞ」を唄う『皇帝円舞曲』、メキシコの歌姫コリンナ・ムーラのギター弾き語りによる「薔薇のタンゴ」の『カサブランカ』などなど、沢山のすてきな名場面がある。

今回は、これらの映画のビデオを一緒に見ながら、古い映画、新しい映画の数々を鑑賞し、それらにまつわる様々な話をしてみたい。ぜひ楽しんで戴きたい。

【映画の中のタンゴについて】

タンゴは 1800 年代の終わり頃、アルゼンチンの港町で生まれた。有名な曲として「ラ・クンパルシータ」等がある。タンゴは 1910 年代、演奏家がパリで演奏するようになり、パリを通じて全世界に広められ、日本でも演奏されるようになった。1929 年トーキー映画に音楽が入り、いろいろな音楽の映画が作られた。

タンゴで一番有名な曲は「ラ・クンパルシータ」であろう。24 時間、世界のどこかでこの音楽は放送されていると言われる。今回は、長い間に数百種類の録音がなされている中で、その第 1 号と言われる 1917 年に録音されたものを鑑賞した。

【上映された映画（タンゴ部分を中心に）】

①『歴史は夜作られる』 1937 年制作

監督 フランク・ボーセージ

主演 ジーン・アーサー、シャルル・ボワイエ

曲 「ラ・クンパルシータ」「アディオス・ムチャーチョス」

②『カサブランカ』 1942 年制作

監督 マイケル・カーティス

主演 イングリッド・バーグマン、ハンフリー・ボガード

曲 「薔薇のタンゴ」コリンチ・ムーラ（歌）、「アズ・タイム・ゴーズ・バイ」

③『錨を上げて』 1945 年制作

監督 ジョージ・シドニー

主演 ジーン・ケリー、フランク・シナトラ

曲 「ラ・クンパルシータ」

④『ギルダ』 1947 年制作

監督 チャールズ・ヴィダー

主演 リタ・ヘイワース、グレン・フォード

曲 「アマド・ミオ」リタ・ヘイワース(歌)

- ⑤『皇帝円舞曲』 1954 年制作
監督 ビリー・ワイルダー
主演 ビング・クロスビー、ジョーン・フオンテイン
曲 「奥様お手をどうぞ」 ビング・クロスビー(歌)
- ⑥『サンセット・大通り』 1950 年制作
監督 ビリー・ワイルダー
主演 グロリア・スワンソン、ウィリアム・ホールデン
曲 「ラ・クンパルシータ」
- ⑦『パジャマ・ゲーム』 1957 年制作
監督 スタンリー・ドーネン
主演 ドリス・デイ、ジョン・レイト
曲 「ヘルナンドス・ハイダウェイ」 キャロル・ヘニー(歌)
- ⑧『お熱いのがお好き』 1959 年制作
監督 ビリー・ワイルダー
主演 マリリン・モンロー、トニー・カーティス、ジャック・レモン
曲 「ラ・クンパルシータ」
- ⑨『ラスト・タンゴ・イン・パリ』 1972 年制作
監督 ベルナルド・ベルトリッチ
主演 マーロン・ブランド、マリア・シュナイダー
曲 「オリジナル」(音楽担当) ガトー・バルビエリ
- ⑩『セント・オブ・ウーマン、夢の香り』 1992 年制作
監督 マーチン・ブレスト
主演 アル・パチーノ、クリス・オドネル
曲 「ポル・ウナ・カデサ」
- ⑪『インドシナ』 1992 年制作
監督 レジス・バルニエ
主演 カトリーヌ・ドヌーブ、カトリーヌ・コーエン
曲 「オリジナル」(音楽担当) パトリック・ドイル
- ⑫『タンゴ・レッスン』 1997 年制作
監督 サリー・ポッター
主演 サリー・ポッター、パブロ・ヴェロン
曲 「ラ・ジュンバ」
- ⑬『そよかぜ』 1945 年制作
監督 佐々木康
主演 上原謙、佐野周二、並木路子
曲 「そよかぜ」「リンゴの唄」 霧島昇、並木路子(歌)
- ⑭『別れのタンゴ』 1949 年制作
監督 佐々木康
主演 高峰三枝子、若原雅夫
曲 「別れのタンゴ」 高峰三枝子(歌)

このように、話をする人の聞き手に対する深い心が伝わってきた。貴重なビデオやレコードなど、豊富な資料を駆使し、各映画の作られた時代的背景や歴史を通じて話が進められた。沢山の豊富な内容が、聞き手に至福の時を与えた。感動と満足感で、次回を又、期待したいという大きな拍手が鳴った。

(記録 廣瀬 智子)

お金のあれこれ**—日本銀行券物語—**

話し手 佐々木 研吾

司会 田中 寿

話をする人：秋田市出身。元日本銀行職員。本店のほか、秋田、札幌、小樽、金沢、盛岡に勤務、主として企画・調査部門や内部管理関係に従事。趣味は、地図を携えて山野や街を歩きまわる自称「地理研究」。

1 はじめに～阪神大震災発生時の感想

平成7年1月17日未明、阪神大震災が起こった。その第一報をラジオで聞いたとき、日本銀行神戸支店の金庫が無事開くだろうかと心配になった。こうした非常時こそ、日銀はお金を円滑に供給しなければならないからだ。しかし、幸いにも支店長はじめ関係者が7時20分頃までに支店に駆けつけ、金庫にも損傷はなく、無事平常どおり営業することができたと後で聞き、「まずはよかった」と安堵した次第である。

2 暮らしとお金(通貨)

「お金」に関連した言葉には、現金、金銭、お札、紙幣、銀行券、貨幣、通貨、おかし、鳥目などがあり、いろいろの場面で多様に使われているが、ここでは、現金通貨(日本銀行券と補助貨)に限って話すこととする。

一般に通貨の機能として、交換、価値の尺度・保蔵の3機能が挙げられるが、日本銀行券(以下、銀行券という)は、日本銀行法(第1条、第46条)によって、法貨として無制限の強制通用力が与えられ、これらの機能を果たしている。すなわち、銀行券は、公私一切の経済取引の決済に無制限に使用され(汎用性、一般受容性)、何人も銀行券による支払いを拒むことができない(強制適用力)。銀行券による支払いは、当事者間の最終的な決済完了となり(支払完了性)、また誰が、いつ、どこで、どんな目的で使用したか、事後にはわからない(匿名性)という性質も重要な特徴である。

このように、国民生活にとって不可欠な銀行券の発行は、中央銀行としての日本銀行のみに委ねられているが、日銀は、銀行券に対する国民の信頼(通貨の信認)に応えるべく、経済成長、物価の状況に応じて通貨の量を適正に調節(金融調節)するとともに、銀行券の品質の保持・向上に配慮している。

なお、補助貨の強制通用力は、小額の支払いを補助するとの趣旨から、1回の支払いにつき各種類20枚までに制限されている(ただし、税金等公納の場合は無制限、通貨の単位および貨幣の発行等に関する法律、第7条)。

平成14年末(年間のピーク)の銀行券の発行高(流通高)は、約75兆円、130億枚に達した。これは、富士山の高さの345倍、横に並べると地球を50周するという物量である。日本人は、現金に対する選好が強く、流通高の国内総生産(GDP)に対する比率は11%と先進諸国(ドイツ6%、アメリカ5%)の中でかなり高い。これは、①慶弔金、餞別、お年玉など固有の習慣の存在、②比較的良好な治安、③偽造券が少なく、汚損度も低い、④金融機関店舗やATMが多く、便利に入手できる、ことなどによるものといわれている。

将来の通貨を展望すると、IT利用の広範化を主因に、キャッシュレス化、電子マネー(ICカード型、ネットワーク型)の普及がますます進むと思われる。ただ電子マネーは、銀行券に比べて優れている点もあるが、匿名性、汎用性、安全性、コスト・効率性などになお研究すべき点も多く、しばらくは銀行券との併用が続くと考えられる。

3 通貨の発行・流通・管理

銀行券は、財務省印刷局(滝野川ほか4工場)において独占的に製造され、それを日銀が引き取っている。その段階では単なる印刷物であるが、現金の需要が生じた場合、日銀と取引のある金融機関および政府が、それぞれの当座預金を引き出して銀行券を受け取ることとなる。その瞬間から銀行券は通貨となり(発行)、あ

まねく全国に(一部は海外にも)流通していく。市中に流通した銀行券は、いずれ金融機関を通じて日銀へ返る(還収)。日銀は、返ってきた銀行券について、自動鑑査機で真偽の鑑定、枚数の計査を行い、再び流通させるものと、汚損がひどいため廃棄するものとに分別する。廃棄する銀行券(一万円券10%、五千円券・千円券50%程度)は3mm角に裁断され、建材等に混入されているが、リサイクルが今後の課題となっている。銀行券の寿命は、一万円券が3~4年、五千円券・千円券が1~2年程度である。

銀行券が破損、焼損した場合は、表裏両面を識別でき、3分の2以上の面積があれば全額に、3分の2未満でも5分の2以上あれば半額に引き換えられる(5分の2未満は失効)。燃えて灰になってしまったものでも、銀行券の灰であることが確認できれば、引き換えられる。また補助貨の場合は、表面の模様が確認でき、重さが正規の重量の2分1を超えていれば全額に引き換えられる(2分の1以下は失効)。

4 銀行券・補助貨のデザイン、偽造との闘い

国民の銀行券に対する信用を保持していくためには、物価の安定、信用秩序の維持が大切であることは前述のとおりであるが、銀行券そのものの品質の維持・向上も、とくに偽造との闘いという観点からきわめて重要である。わが国は、先進諸国の中で偽造券は格段に少ない(1995年、日本円1300枚、米ドル317万枚、仏フラン38万枚)が、高度なコピー技術の発達、多種多様な現金取扱機器の普及、国際的な偽造団の暗躍など環境変化が著しく、品質の向上には不断の努力が欠かせない。

まず素材には、みつまた、マニラ麻のほか複数の原料を混入して破れにくいものを使用し、凹版印刷による独特の手触りや複写できない精巧なすかしを施しているほか、超細密画線によるシャープな図柄、特殊なマイクロ文字、発光インクによる印刷など、いろいろな高度の技術を駆使している。このほか、10~15年ごとに実施する改刷も有力な手段である。平成16年度には、二千円券を除く3券種の改刷が予定されており、五千円券の人像に樋口一葉(初の女性像、政府紙幣では明治時代に神功皇后の先例がある)、千円券に野口英世が登場する。人像は、文字どおり銀行券の顔であり、偽造防止の意図も含めて国民によく知られた人物の気品ある肖像が選ばれる。明治以来、15人の肖像が登場しているが、聖徳太子が7回と最も多く、和気清麻呂、菅原道真の各6回がこれに次いでいる。

補助貨については、表裏がよく話題にされるが、年銘のある面が裏、その反対側が表である。ギザはもともと偽造防止と装飾のために刻まれるものであり、穴は偽造防止と装飾のほか、他の貨幣との識別、原材料の節約のためのものである。

(記録 佐々木 研吾)

大豆よもやま話ー日本の大豆、世界の大豆、食品としての歴史と重要性ー

話し手 橋本 鋼二
司 会 鶴田 金通

話をする人：昭和32年農林省農業試験場入省。大豆その他の豆類の研究・試験研究管理者として従事。

勤務地は北海道、秋田、新潟、茨城、オーストラリア、タイ。昭和50年大豆の研究で農学博士。

平成6年農林省を定年退職。平成9年から3年半、国際協力事業団（JICA）の技術協力プロジェクトリーダーとして、南米パラグアイで大豆の生産技術を高める研究の指導に従事。

1 大豆の消費量

大豆の国内消費量は2000年の統計によると総量は483万トンでうち製油用が圧倒的に多く全体の77%、食品用は21%、残りは飼料用2%である。食品用の101万トンの使用内訳は豆腐と油揚げ48%、味噌16%、納豆12%、凍豆腐3%、醤油用3%、豆乳1%、その他17%となっている。

2 大豆の食品としての歴史

原産地は中国（黄河流域説が有力）大豆も他の作物同様野生種を改良したもの、野生大豆の栽培化は数千年前、大豆を表す象形文字“𣮵”→“菽”は約3000年前の周の時代。日本では弥生時代に山口県や福岡県で炭化米とともに炭化豆として出土。東日本では弥生時代後期。記紀の建国神話に五穀の中に豆が出てくる。大豆はタンパク質と脂肪が多く、そのままでは消化吸収が悪く食べにくい。

3 大豆の加工食品（食べやすく消化吸収も良い）

（1）水溶性タンパク質の抽出……豆腐とその仲間

（豆腐の発祥と日本への伝来）

中国唐代中ごろ製造されていた。日本には奈良時代遣唐使の僧侶によって伝えられたといわれている。文献に初めて登場するのは1183年春日大社の神主の日記に出てくる「唐符」が豆腐のことであるといわれている。豆腐が庶民の口に入るようになったのは、江戸の中ごろで、大都市の江戸・京都・大阪などに限られ、一般農民にとっては非常なぜいたく品であった。それ故に祭りやお盆、お正月、冠婚葬祭などの特別な日（ハレの日）にしか食べられなかった。豆腐の種類や関連食品については省略。最近では豆乳を原料としたプリンやアイスクリーム等多彩な用途へ利用されている。

（2）発酵食品……納豆・味噌・醤油

（味噌の伝来と”発酵調味料ロード”）

味噌はやはり中国でつくられ、それが朝鮮半島をへて日本へ伝えられ、日本で独自の発展をとげた。現代では中国の辣醬（ラージャン）・豆板醬（トウバンジャン）・甜麵醬（テンメンジャン）・暇苦（シャージャン）・豆（トウシ）があり、韓国には醬（コチュジャン）があり、日本に来て味噌・醤油があり、まさに発酵調味料ロードが出来上がる。

（味噌の種類）

大別して米味噌・麦味噌・豆味噌・調合味噌があるが名称の違いは麴に使う原料の違いによってであり、どの味噌も大豆と塩は共通している。米味噌は米麴・麦味噌は麦麴・豆味噌は豆麴によってつくる。

（味噌の地域別分布）

- ・赤褐色の辛口米味噌・・・北関東・東北・北海道
- ・淡色辛口米味噌・・・・・・信州・北陸・中国地方の日本海側
- ・豆味噌・・・・・・愛知・三重・岐阜

- ・白甘味噌……………京都・近畿・瀬戸内海沿岸
- ・甘口麦味噌米味噌……………九州・四国

4 塩辛納豆と糸引納豆

(1) 塩辛納豆

塩辛納豆は浜納豆もしくは寺納豆といわれる納豆で、現在でも寺の多い関西地方で食べられている。
麹菌による発酵。

(2) 糸引き納豆

糸引き納豆は普通ただ納豆といわれ、糸を引く納豆で納豆菌による発酵。 この納豆は日本独自のものでその発祥伝説はいくつかある。

(3) アジア各地に存在する納豆に似た大豆発酵食品

中国、韓国、タイ、ラオス、ミャンマー、ブータン、ネパールなどに納豆に類似した発酵食品あり。

(4) ナットウキナーゼの発見

1988年に血栓を溶かす強力な酵素ナットウキナーゼが発見され、脳梗塞や心筋梗塞を予防する食品として一躍注目をあびた。 納豆は東高西低の時代が長く続いているが、近年健康食品として高い評価のもと西日本の消費の伸びが目立つ。

5 国際的な調味料になりつつある「醤油」

(1) 醤油の発明

醤油の原形の醤は約2000年前に出現、弥生時代から古墳時代の一種の塩漬発酵食品。

(2) 醤油の種類

- ・こいくち醤油……………全生産量の約83%(2001年)で主原料は大豆・小麦(大豆とほぼ等量)食塩。
- ・うすくち醤油……………全生産量の約14%、色を薄く仕上げるため塩分を多くして発酵を抑えぎみにする。
- ・たまり醤油……………全生産量の約2%

6 大豆食品の優秀性

生活習慣病の予防に効果があり、畑の肉といわれる優れた植物性タンパク質が豊富。 悪玉コレステロールを低下させ脳血管疾患、心臓病、糖尿病の予防に効果あり。 その他優れた脂肪酸組成を持つ脂肪、レシチン、サポニン、イソフラボン、カルシウム、食物繊維、オリゴ糖などが含まれる。

7 世界と日本の大豆生産

大豆は20世紀になって極東アジアの作物から世界的に重視される作物になり、北米・中南米・インドの生産は飛躍的に増加した。 ヨーロッパやアフリカでも生産されるようになってきた。 日本の自給率はわずか3～4%で殆ど輸入に頼っている。 安定的に輸入されないと大変なことになる。

大豆の主要輸出国(2000年)

アメリカ	2,719万トン
ブラジル	1,152万トン
アルゼンチン	412万トン
パラグアイ	180万トン
カナダ	77万トン

大豆の主要輸入国(2000年)

中国	1,278万トン	スペイン	265万トン
オランダ	538万トン	韓国	149万トン
日本	483万トン	タイ	132万トン
メキシコ	399万トン	インドネシア	128万トン
ドイツ	385万トン	ベルギー	115万トン

上記の表によってみると主要輸出国は南北アメリカ大陸で、中国などかつての輸出国が輸入国となり、またその輸入量は特段に多い。

(記録 土井 俊玄)

開講式と特別講話

日 時：２月２６日（木）１３：３０～１６：３０

会 場：八王子エルシィ

出席者：サロン会員６３名 プロバス会員５４名

来 賓：八王子市長 黒須隆一

八王子南ロータリークラブ会長代理 大野聖二

開講式は、地域奉仕委員会宮崎浩平委員長の司会で定刻に開会、先ず大高秀夫副会長の開講の言葉があった。引き続き立川富美代会長の挨拶があり、前回の７回は受講者総数が延べ約７００名になること、今回のテーマは「緑と環境」であることなど話された。

次いでご来賓の紹介とご挨拶があった。黒須市長からは当クラブに知的財産の集積があり、これを基に街作りのキーワードのひとつである生涯学習を実施していることを高く評価された。また、「受講者の中に女性が多い」と指摘し、その意欲に賛辞を呈され、さらに八王子にある２１の大学と連携し、９月に「市民大学」が開講になると紹介された。今回のテーマである「緑と環境」については、緑は八王子の財産であり、市民の９０％が定住を希望しているが、そのうち６０％が、緑が多いことを理由にあげていると説明された。

次いで八王子南ロータリークラブ会長の代理として大野聖二氏よりご挨拶があり、祝電の紹介へと続いた。

司会が地域奉仕委員会の浅輪豊治副委員長に代わり、テーマと話し手の紹介があり、それぞれのテーマを「話す人」から「話」の進め方と内容の概略説明がなされた。

閉講式・特別講話・さよならパーティ

日時:5月27日(木)14:30～19:00

会場:八王子エルシー

出席者:サロン会員 35 名, プロバス会員 49 名

閉講式

閉講式は宮崎地域奉仕委員長の司会により開会した。

主催者を代表して立川富美代会長は「このたびの第8回プロバス生涯学習サロンには多数の方々のご参加をいただき、約3ヶ月の長きにわたり盛大に開催することが出来、皆様にご協力をいただいたことを心からお礼を申し上げます」と述べると共に、本日のご来賓としてご出席いただいた八王子南ロータリークラブの加賀谷恵会長と、このあと特別講話として「映像で語る人間賛歌」と題してお話をいただく八王子アマチュア映像協会会長西沢幹夫氏に対しお礼の言葉を述べた。また閉会式に先立ち、第1回の生涯学習サロンの報告書を開いてみたら、大野初代会長の「気軽に、楽しく話し合いながら、知識と知己を広めて有意義な人生を」と書かれてあった。これがまさに、学習サロンの幹であり、私達はこの良いものを第1回から今回までずっと踏襲してきた。この中で根幹になるのがまさに何かと考えると、クラブ会員との出会いと一般会員としてご参加いただいた皆様方との出会いではないかと考えた。「楽しく話し合い、知り、学び、友達をふやしてゆくことは素晴らしいこと」だと思った。出席率をみると平均80%以上、延べ700名以上の皆様にご参加いただき楽しい時を過ごしたことに厚くお礼申し上げますと共に来年以降も更により良いものにして「生涯学習サロン」を継続してゆくために参加者の方々のより忌憚の無いご意見、ご要望を賜りたい。

次回はより一層充実をはかりご期待に応えるべく今からいろいろ構想を巡らしているので皆様のご支援、ご協力をお願いしたいとの挨拶を行った。

続いてご来賓の加賀谷会長から「第8回生涯学習サロン」が成功裡に終了したことにお祝いの言葉をいただいた。その中で「学ぼう、語ろう、広げよう」という言葉は深い言葉であり、プロバス会員の各メンバー一人一人がそれなりの人生経験を生かし特徴を活かして地域への貢献に資したことは素晴らしい事だとのお言葉をいただいた。

参加者を代表して板垣由里子さんから、初回から参加させていただいたが気軽に楽しく過ごす事が出来、プロバス会員が、かげで大変な努力を重ねて来られたことを深く感ずる事が出来た。参加会員も楽しく大変有意義な時を過ごすことが出来、感謝の気持ちで一杯である旨の言葉を頂戴した。

閉講のことば

副会長 大高 秀夫

いよいよ本日でサロンも最後を迎えました。最後に西澤先生の素晴らしく感動的で懐かしい映像を拝見させていただき、本当に有り難うございました。皆様の熱心なご参加により楽しく盛況の内に終了できたことに対し厚く御礼と感謝を申し上げます。また、来年も色々趣向を凝らして楽しいサロンにしたいと考えておりますので、皆様お揃いでお越し下さいますようお願い申し上げます。

さよならパーティ

さよならパーティは『今日の日はさようなら』と題して会場を別室に移して、秋山邦博会員の軽妙、酒脱な司会で開場した。まず、登場したのが紅一点を交えた岩岡茂之会員ほかのハワイアンバンド「アナカラ・ハワイアンズ」で、会場の雰囲気は一気に華やかに盛り上がった。紅一点のボーカルの美しい声に聞きほれ、洗練されたバンド演奏に聞き入るうちに、アルコールが廻るにつれ会場内は一層華やいだものになった。なかでも意表をついて登場したのが長町元会長で、アロハ姿で「カイマナヒラ」を歌い、身振り手まねで踊られたのが圧巻であった。

最後に登場したのが、下田泰造会員十八番の大道芸「バナナのたたき売り」で、あっという間に台上のバナナは売り切れとなり、満場からやんやの喝采を受けた。

パーティの最後を飾って参加者全員による「見上げてごらん夜の星を」と、参加者一体となってフィナーレにふさわしい「今日の日はさようなら」を合唱し、来年の再会を約して閉会した。

(記録 北川 博孝)